

## 8-1-2 道路会社業務検討WG (NEXCO)

### 1. 道路会社業務検討WGの概要

#### (1) 道路会社業務検討WGの活動目的

高速道路会社との意見交換を実効化、具体化するために設置された。双方の実務者からなる実務者検討会の運営を主な活動としている。

#### (2) WGの構成

WGは東日本・中日本・西日本の各高速道会社業務検討チームで構成され、各チームは本部委員あるいは支部委員で構成されている。

各高速道路会社との実務者検討会は、協会側メンバーと道路会社側メンバーで構成され、業務に関する具体的課題解決に取り組んでいる。

### 2. 主な活動の記録

過去の意見交換会やアンケート調査から抽出した施工管理、大規模更新・修繕、設計、積算などの課題に取り組んだ。

#### (1) 東日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

##### a) 施工管理

負担になっていた資産区分について、関東支社で専門チームを作って分離する取り組みが挿入された。中長期計画の公表頻度が年4回になった。

##### b) 積算

新たに積算歩掛についてネクスコ3会社と建コン協が一堂に会して議論する場を作り、調整を開始した。(3社共通)

##### c) 耐震補強設計

大量の耐震補強設計業務が出されたため、不調が続出する事態となった。(3社共通)ネクスコ東日本および中日本では設計期間に余裕を持たせ、コンサルタントの都合に合わせて業務を開始できる発注手法を導入し、受注しやすい工夫を導入した。

##### d) 働き方改革

令和元年6月21日、働き方改革を推進する業務改善の取り組みについて確認書を交換した。

##### e) 設計変更ガイドライン

令和元年7月に設計変更ガイドラインが改訂

された。(3社共通)

#### (2) 中日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

##### a) 入札

手持ち業務の金額評価を改訂し、契約期間の残期間分のみとする方式が導入された。

##### b) 耐震補強設計

ネクスコ中日本及び西日本では、動的解析を行わない設計方式が導入された。また、基礎の対策を基本的に行わず、チェックのみとなった。

この件に関して令和2年1月16日に説明会が実施された。

##### c) ウィークリースタンス

ウィークリースタンスについて取り組みが強化されている。(3社共通)

##### d) 施工管理

40歳未満の監理技術者の評価点が有利となる制度改革が行われた。

#### (3) 西日本高速道路会社

3回の実務者検討会とその準備会を開催した。

##### a) 入札

耐震補強設計の総合技術監理型大型プロポーザル方式の応札者が少なく、不調が多いため、従来規模に戻して動的解析を行わない方式での発注に改善された。

##### b) 設計変更ガイドライン

マイルストーン管理の取り組みが強化された(3社共通)

##### c) 施工管理

全支社の施工管理業務の中期見通しがホームページに掲載された。

### 3. 次年度の活動について

次年度は、働き方改革への対応強化、プロポーザル方式の積極的採用、総合評価における低入札対策、災害等への対応、施工管理制度の改善検討および管理員の確保対策、設計変更ガイドラインの継続的な見直しなどを目標に実務者検討会を実施する。

(道路会社業務検討WG (NEXCO) WG長

鈴木 卓)